

感謝の気持ちを忘れず 心と心が繋がる仕事を



横浜リーガルハート司法書士事務所

神奈川県横浜市中区元浜町3-21-2 ヘリオス関内ビル4F
TEL.045-222-8559 FAX.045-222-9682
<http://legal-heart.com/>

対談

代表
司法書士

芦川 京之助 ×

元WBA世界スーパーフェザー級・
ライト級チャンピオン(2階級)
インタビュアー
[タレント]

畑山 隆則

畑山 まずは司法書士を目指された頃から現在までの経緯をお聞かせ下さい。

芦川 大学が法学部法律学科だったものですから、やはりそれを生かせる職業を考え、自分に合っているのではと司法書士を目標に置きました。卒業後、司法書士事務所に勤め二十七歳で試験に合格、三十歳で開業し二十年になります。

畑山 司法書士というのは弁護士や税理士、社会保険労務士などに比べると仕事の内容が分かりにくい感じがするのですが。

芦川 不動産売買や登記などにかわり意外と身近なのですが、間に銀行や仲介業者が入るため、お客様には具体的に何をしているのかが見えにくいのではないのでしょうか。

畑山 権利書を見ると必ず司法書士名が書いてありますものね。

芦川 ええ。でも、私もそういう形態での仕事に満足感を得られなくなり、十年前からずっと何をすべきかを考えていたのですが、一冊の本との出会いからきっかけを掴むことができ、事務所名も場所も変えて新しいスタートを切りました。

畑山 仕事の方向性を見直されたということですか。

芦川 はい。銀行や業者からという他力本願の仕事ではなく、基本は自分でお客様を見付け、喜んでもらえる仕事をしたと考えています。そもそも司法書士の仕事はそういっ

た地域密着のものだったのですけれどもね。

畑山 それでホームページも立ち上げられたのですね。

芦川 ホームページを見て「ここに頼んでみよう」と思ってもらい、そして「頼んで良かった」と感謝してもらえる関係を築きたいと思っています。もちろん実際に感謝するのは私の方なのですが。

畑山 その思いが「リーガルハート」という名前にも込められているのですね。

芦川 横浜とリーガルという言葉に続くものを探していたのですが、心と心の繋がりを大切にという意味を伝えられるネーミングができたと自分でも気に入っています。

畑山 手応え、そして今後についてはいかがお考えですか。

芦川 ここは法務局にも近く、落ち着いた仕事ができる環境なので好感触ですね。今は自分の得意分野である不動産登記、売買、相続などに力を入れ、多様化するニーズに対応すべく、お客様のパートナーとして喜んで頂けるよう積極的に行動することを心掛けています。そして将来的には終了手続きではなく、司法書士の枠を超え人生や会社を良い状態に持つていく仕事を手掛けていければと思います。

畑山 幅広いフィールドでのご活躍、私も応援しています。本日はありがとうございました。